

米粉利用拡大プロジェクトと推進体制について

■ 米粉利用拡大プロジェクト目標と進捗状況

米粉利用拡大プロジェクト (21年度制定)

平成20年度 平成24年度

県産米を使った
米粉使用量 **41t → 1,000t**

食品産業 での利用	麺	600t (4%)
	パン	100t (6%)
	菓子	100t (11%)
家庭での利用		100t (10%)
学校給食での利用		100t (パン2回・麺1回)

項目	H20実績	H21実績	H22実績	H23	H24目標
県産米を使った米粉使用量 (作付け相当面積)	41t	180t	450t (100ha)	1077t (233ha)	1,000t (220ha)
新規用途の米粉製品 販売店舗数	39店舗	64店舗	103店舗	調査中	100店舗
米粉メニュー提供店舗数	-	-	19店舗	調査中	40店舗

■ 推進体制と役割分担

	具体的取組み	取組主体
1	新規需要米への生産者の取組支援	J A山形中央会、全農山形県本部
2	新規需要米生産への技術支援	新・米づくりやまがた日本一運動本部
3	製粉機、加工施設の導入支援	国、県
4	一般消費者を対象とした米粉利用料理の普及	食生活改善推進協議会、消費生活団体連絡協議会
5	料理の素材としての米粉の利用促進	飲食店関係者、ホテル等
6	米粉販売店を紹介するHPの充実	国、県
7	イベント等による米粉製品のPR	国、県、スーパーマーケット等
8	米粉を活用した商品開発	食品加工業者、飲食店関係者、ホテル、スーパーマーケット等
9	食品加工業者、飲食業者、農産加工組織を対象にした技術講習会の開催	県
10	米粉アドバイザー派遣等による技術支援	県
11	県産米利用促進のための米粉生産・加工技術の開発	県(農業総合研究センター)
12	米粉製品の学校給食への導入	市町村
13	米粉を起点にした地域づくりの推進	県(総合支庁)

